

# 茨城の教育

茨城県高等学校教職員組合  
310-0853 茨城県水戸市平須町表原1-9-3  
telephone 029-305-3075  
facsimile 029-305-3317  
/www.mito.ne.jp/~iba-kou/

# 2012年茨高教組定期大会

6月2日(土曜) 10:00-16:00

ワークヒル土浦 ☎ 029-826-2622

## “2012 教職員春闘アンケート” 中間集計報告

茨高教組は、教職員の生活実感や賃金・権利・制度・政策にかんする要求・関心等にもとづき、茨城県や国にたいする要求事項のとりまとめをおこなうために、「2012 教職員春闘アンケート」に取り組んでいる。4月1日現在で150人から回答が寄せられた。教職員の半数を超える方々が回答を寄せた職場もあり、自由記述欄も3分の1の50人近くの記述があるなど、労働や生活への不安と改善の願いの高さがうかがえた。「アンケート」は5月中旬まで続行するが、ここで中間集計結果を一瞥する。

### 4割以上が生活実感「苦しい」 半数以上が「心の病」の不安

第1問の生活実感では、「かなり苦しい」「やや苦しい」と答えた方が41.3%で、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」と回答した方は10%にとどまっている。

第2問の「家計の中で特に負担に感じている費用」では「住宅関係費」が51人、「税金・社会保険料」が50人、「子どもの教育費」が42人の順が多い。

「実際に節約・切りつめている費用」では、「被服費」61名、「教養・娯楽費」51人、「食費」50人の順が多かった。

第3問の「いくらくらいの賃上げが必要」では、90%以上が「1万円以上」の賃上げが必要と答えている。

第4問の「直近1か月の残業」では、まったく残業なしは11.4%にすぎず、逆に50時間以上の残業を行った人は16.8%にのぼった。

「過労死ライン」とされる80時間を超える人が10人もいた。

第5問は、「働き方の不安」についての設問。

A「今の働き方が続くと、身体がもたないかもしれない」では「強く感じる」が16.1%で「やや感じる」を合わせると71.1%が働き方に大きな不安をいただいている。

B「今の働き方が続くと心の病になるかもしれない」については、「強く感じる」が12.8%、「やや感じる」が

38.9%で、合わせると50%以上の教職員が今の働き方に精神的不安を抱えている。

### 給与・年金・休暇の要望

第6問の「県教委や政府に対する要求」で、最も多かったものは、「給料の引き上げ」で69人、2番目が「公務員賃金引下げ阻止、公務員公共サービス切捨て・国の責任の地方への押しつけ反対」で43人、3番目が「介護休暇、子育て休暇新設など休暇制度の充実」で41人、4番が年金改善と最低保障年金制度の確立」で40人の順だった。

### 68%が原発廃止要求

第7問「原発について」では、「直ちに操業をやめて廃



土浦北ICから国道125号を東へ約3km。地図中の\*印の交差点を左折。

止」が31.5%で「目標を決めて数年以内になくす」「経済状況をみながら徐々に減らし将来なくす」を合わせると、68.4%の人が中長期的には原発の廃止を望んでいる。

### 労働条件・教育条件についての自由記述

自由記述欄の、「労働条件」に関しては「労働時間の短縮」、「賃上げ」、「教職員の増員」、「臨時教職員の待遇改善」などの要求が書かれていた。

「教育条件」については「学校の耐震化の早期実施」、「災害時の備蓄」、「教育予算増

止」が31.5%で「目標を決めて数年以内になくす」「経済状況をみながら徐々に減らし将来なくす」を合わせると、68.4%の人が中長期的には原発の廃止を望んでいる。

止」が31.5%で「目標を決めて数年以内になくす」「経済状況をみながら徐々に減らし将来なくす」を合わせると、68.4%の人が中長期的には原発の廃止を望んでいる。

止」が31.5%で「目標を決めて数年以内になくす」「経済状況をみながら徐々に減らし将来なくす」を合わせると、68.4%の人が中長期的には原発の廃止を望んでいる。

止」が31.5%で「目標を決めて数年以内になくす」「経済状況をみながら徐々に減らし将来なくす」を合わせると、68.4%の人が中長期的には原発の廃止を望んでいる。

茨高教組では今回の春闘アンケートの結果をもとに、要求書をつくり、組合全体での論議を行ったうえで、県教委との交渉を行っていく。また、国の制度改正が必要な項目については、全日本教職員組合(全教)として、文部科学省へ要求する。

\*アンケートは5月中旬まで実施します。引き続きご協力ください。